

第7回北陸風景街道交流会議 ～結果報告～

- ・開催日時 : 平成25年10月17日(木) 18日(金)
- ・開催場所 : 富山県富山市 富山県民会館 304会議室他
- ・参加者 : 全64名 アドバイザー(臼井氏、森野氏、本省近藤企画専門官)、ルート関係者、その他国・県・市担当者など

■北陸風景街道交流会議

- ・北陸風景街道交流会議は、風景街道のさらなる発展のため、情報効果や人的交流を目的として平成18年度より継続的に開催。
- ・今回は全13ルート中、9ルートが今年度の取組や課題などを発表。
- ・パネルコーナーには各ルートのパンフレット、特産品、記念カレンダー、国土交通省の災害パネルを展示。



開催市挨拶(富山市神田副市長)



交流会議の様子



各ルートのパネル展示

<アドバイザーからの主なコメント>



【臼井氏(オフィス・ウスイ代表 元(株)富士通総研取締役)】

- ・どのルートも地に足のついた活動を持続的に展開しておりステップアップしている。
- ・今後は、さらにルート内の質を高めたり、外部との連携も視野に。
- ・ルートの足並みが揃った段階で北陸としてのブランド化、経済波及効果の検討を。



【森野氏(都市ジャーナリスト)】

- ・中の連携、外の地域、ブロックとの連携、巨大消費地との連携など、全国的に見ても、今後は連携が非常に重要になってくる。
- ・ルートによっては、世代交代が進んでいる所もあり、評価できる。



【本省近藤企画専門官】

- ・個々のルートそれぞれで、点検をして、課題を見つけ、チャレンジしていくという姿勢が、大変素晴らしいことだと感じた。国としても、汗をかいて頑張っている方に対し、支援できるような枠組みを引き続き考えていきたい。